

日韓会談文書・全面公開を求める会主催
シンポジウム
日韓会談文書公開訴訟と運動から
得たもの 生まれたもの

日時・・・2010年12月23日(木・祝)2時～5時
場所・・・東京しごとセンター 5階セミナー室
(JR飯田橋駅下車(東口)より徒歩5分)

シンポジスト

行政透明化検討チーム委員としての雑感(仮題)
中島昭夫氏(元・朝日新聞記者)

市民が使う情報公開法 開かれた政府をめざして
三木由希子氏(特定非営利活動法人情報公開クリアリングハウス理事)

日韓会談文書公開運動から得たもの
吉澤文寿氏(当会・共同代表)

日韓会談文書公開訴訟から得たもの
張 界満弁護士(当訴訟・弁護士)

大韓弁護士協会と日本弁護士連合会 合同で何ができるか
崔 鳳泰弁護士(当訴訟・原告)
(大韓弁護士協会日帝被害者人権小委員会委員長)

司会 太田 修氏(当会・共同代表)

日本の情報公開法は先進諸国では一番遅く2001年に施行されました。

今回のシンポジウムは、日韓会談文書公開関係者ばかりでなく、より幅広い人たちに関心を持っていただくため、情報公開法の制定に関わり、～これでいいのか 情報公開法 霞ヶ関に風穴は開いたか～の著者でもある中島昭夫氏と、長年に亘り市民生活の中で情報公開を求め、日本における情報公開の第一人者である三木由希子氏の協力を得て、開催することになりました。

日韓会談文書の公開によって日韓会談の事実を解明し、日本の植民地支配による被害者への謝罪と補償を実現するために始まったこの運動と訴訟は、今、私たちに「日本の民主主義と国民主権とは何か」を問いかけています。

シンポジウムが、この問いかけについても、みなさんと共に考え合う機会になれば、と願っています。

総会：1時～2時

2010年度
活動報告と決算報告の審議
弁護団報告
2011年度
提案事項と予算案の審議

日韓会談文書・全面公開を求める会
共同代表：太田 修 田中 宏
西野瑠美子 吉澤文寿
(事務局)
〒259-1114
神奈川県伊勢原市高森3-4-22 高梨荘202
TEL・FAX：0463-95-4662
E-mail: nikkanbunsho@yahoo.co.jp
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~nikkan/>